



**観光**

**まなぶ 太宰府観光**

「雨だけど、楽しみたい」。兵庫県から来られた井村耕太郎さんは、出発前にこんなコメントをくださいました。観光Aコースが巡るのは、太宰府方面。傘を持って合羽を着ていざ出発！

まずは、太宰府天満宮の参道で面白い物タイムです。手作りディベアのお店やキャラクターションショップなど、個性的な店が軒を連ね好きな店がないかとあたりを見回します。東京や福井など九州以外からの参加者は、明太子に興味津々。味見をしたり、店員さんにオススメを聞いてみたり一番人気は、太宰府の代名詞ともいえる梅が枝餅です。冷たい雨のなかいただいた梅ヶ枝餅は、手にじんわりとぬくもりを運んでくれます。鹿児島からお越しの宮里孝さんは、「おいしいお餅に出会えてうれしい！」と、にんまり笑ってひと口、ふた口。



この後みなさんは、昼食をとって九州国立博物館の企画展を観覧したようです。

**70名 博多まち歩き**

博多の町を「さるく(歩く)」しました！利用者の参加は60名。ボランティアさんは約70名。出発前の学生ボランティアさんは「先生から進められて参加しました。大きな大会に参加できて光栄です。楽しみたいと思います！」と意気込み十分。

「いよいよ出発！なんと天気は雨！土砂降りの中国国際会議場を出発し、傘をさして博多の町を観光しました。櫛田神社で御参りし、博多名物山笠の神輿を見



学。大きな神輿を目の前にし、参加者は驚いていました。ふるさと館で博多の歴史を学び、お土産も購入。観光中、雨がだんだん強くなり、移動しにくい時もありましたが、ボランティアさんたちの息の合った連携で乗り切っていました。今回の観光はボランティアさんと利用者さん二人一組。始めて会ったという方もいましたが、ゆっくり歩きながら沢山のお話が出てきてコミュニケーションもばっちり。利用者さんだけでなく、ボランティアさんも楽しめる「さるく」になったと思います。

**70名 辛子めんたいづくり**

全国大会2日目、仲間の観光「つくる(辛子めんたいづくり)」の取材に行ってきました。あいにくの雨でしたが、参加者全員、雨にも負けない「笑顔」と「元氣」で明太子づくり体験をしました。

8時半から受付をし、バスに乗り、本日の目的地の「観光会館はかた」に向かいました。9時に到着後、早速「辛子めんたいづくり」となりました。工程は「ラベルに賞味期限の記入、明太子を入れるケースづくり、唐辛子や昆布などの調味料づくり、そして焼酎やブランドーなどで仕上げ」をしていきました。皆さん「早く食べたい」「私、辛いもの好き」と大盛り上がり。一生懸命、愛情を込めて作っていききました。できあがったあとは当然「早く食べよう」となりましたが、食べられるのは5日後という事で、皆さん少しかかり。



でも、皆さんには内緒にしましたが、「本日の昼食」には実はちゃんと「辛子めんたいこ」が入っています。体験のあとで、よりおいしく感じられるのではないのでしょうか。本当に笑顔の絶えない観光でした。





# ながまつフェスティバルにふくまが

「たのしか」「うれしか」「おいしか」「しろしか」の4チームに分かれ、仲間フェスティバル開催です！



準備体操では、体操のお兄さんたちとともに特別ゲストとして『獣神ライガー』さんが登場！会場を沸かせてくれました！！



ゲームは、福岡の仲間達が福岡にちなんだゲームを考えて用意していました！最初のゲームは「福岡人物名物絵合わせゲーム」です。カードは明太子など福岡の名物が描かれています。中には、氷川きよしなど自分の好きなカードが当たって喜ぶ仲間もいました。



その他には、「福岡タワー倒しゲーム」や「明太子送りゲーム」などもあり、盛り上がりしました。



# つながりあひ



## トヨタカローラ

利用者観光の送迎ボランティア、トヨタカローラ博多の山下さんとトヨタハートフルプラザ福岡の東さんにお話を聞きしました。

トヨタ福祉車両体感フェアで障害者の送迎をされているトヨタさん。その関係で、利用者観光の送迎をお願いすることになりました。ボランティアについて、「当たり前のことをしていただけ。いつも行っていることが『ボランティア』になるのかと不思議な感じがします」とおっしゃっていました。大会では、「トヨタの最新モデルを体感して、知ってもらえるのが楽しみです」と新車を準備してくださいました。大会をきっかけに、トヨタの福祉車両と九州には福岡にしかない福祉車両の総合展示場「トヨタハートフルプラザ福岡」を知ってもらえたらいいなと思います。



## 佐々木篤さん(三つ葉の里所長)

「全国から福岡に来られる仲間達と、楽しい時間を過ごせればいいなと今回ボランティアを引き受けました。担当が仲間の観光になりな良かったです。日々の業務と平行しての準備だったので、話し合うためのスケジュール合わせや、観光に参加する仲間の状況把握が大変で、なかなかうまくいかないこともありました。」

オフィスのプリンターに、印刷機のパワーを。

**ORPHIS**

この「AW!TIMES 速報」は理想科学工業理想福岡支店様のご協力により、2日間で計6回12,000部を発行いたしました。心より感謝申し上げます。

世界最速オフィスプリンターで、ビジネスにスピードを。

**ORPHIS 9050**

■中橋 真紀人さん  
記念講演で講演して頂いた村崎太郎さんを紹介してくださったのが、実はこの中橋さん。  
もしかしたら、この名前に心当たりがあるかたもいるかもしれませんが、そうこの方、『ふるさとをください』のプロデューサーなんです。村崎さんと連絡を取り合ったり、調整してくれたり中橋さん、本当にありがとうございます。おかげで、楽しい猿まわしに、ステキな講演が聞けました。



tsunagari:au

## 参加ありがとうございました。

大会事務局次長 西原恵子

皆さん、福岡大会はいかがでしたか？さて、今回の大会が障害福祉施策の大転換期という歴史的節目と重なり、テーマである「主役」を、はじめよう。『尊厳をとりもどそう 私たちの時代に』をはじめ、まさに「ワクワク」するような気持ちで現地福岡実行委員会、事務局も準備に邁進してきました。昨日・今日の両日の大会が参加の皆さんの大きな力となり、障害ある人びとをはじめ、誰もが大切にされる社会づくりの協力・共同の輪をさらに広げ運動を推し進める力となりますようにと思っております。

この2日間いろんな面で不手際があり皆さんにご迷惑をおかけしました。さらに今日は現地関係者の願いもむなしく大雨となってしまうと、皆さんには大変ご迷惑をおかけしているかと思えます。皆さん！気をつけてお帰りください。また、来年滋賀であいましょう！！

## 『第34回全国大会inしが』に向けて

きょうされん滋賀支部 川崎昭仁

来年度の大会を滋賀で開催するため、視察として大会2日前から現地入りし、大会の準備や運営を勉強させていただきました。



参加させていただいた前日、前々日も夜遅くまで準備をされ、皆さん疲れているにもかかわらず元気で、特に会議では「あっこに券があるけん、とっとと。」など笑いと方言が飛び交っていて、関西人の私は「えっ？何て？」って感じてましたが、明るく前向きな姿勢に私自身も元気を頂くことが出来ました。

今回、福岡で頂いた元気を受け継ぎ、『滋賀県らしさ』を出していただけるように準備をしていきたいと思っています。参加された方、現地で準備された皆さん、ホントにお疲れ様でした。来年、滋賀県でお会いできることを楽しみに待っています。